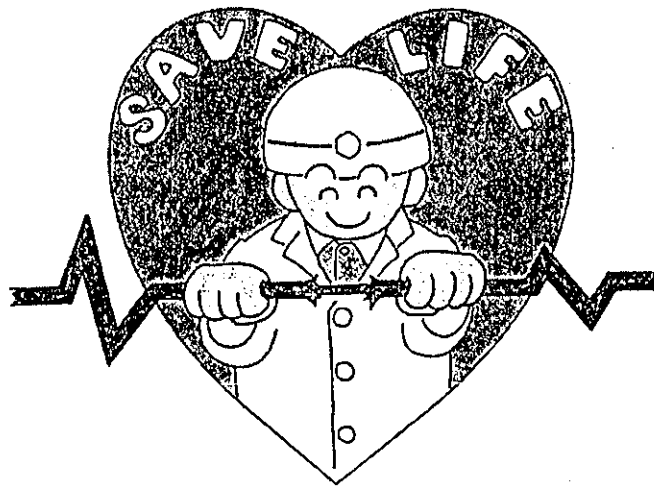
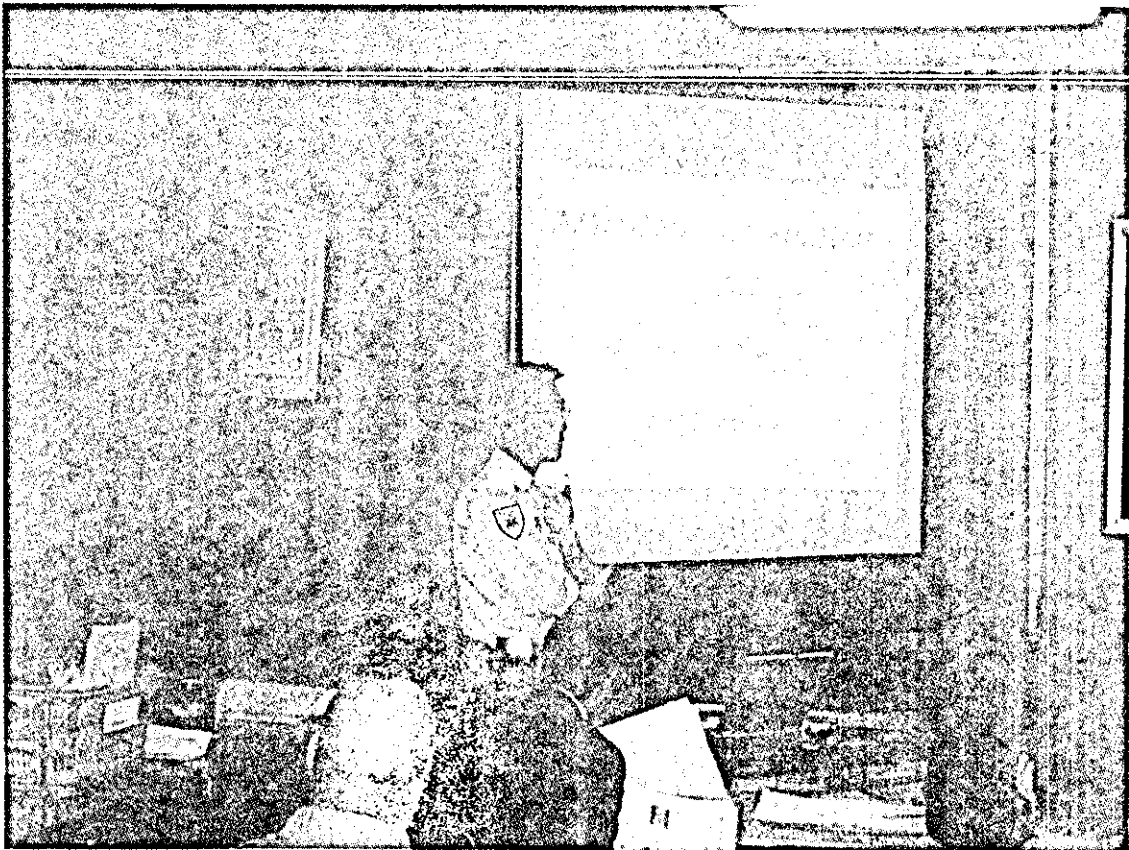


# AED講習風景

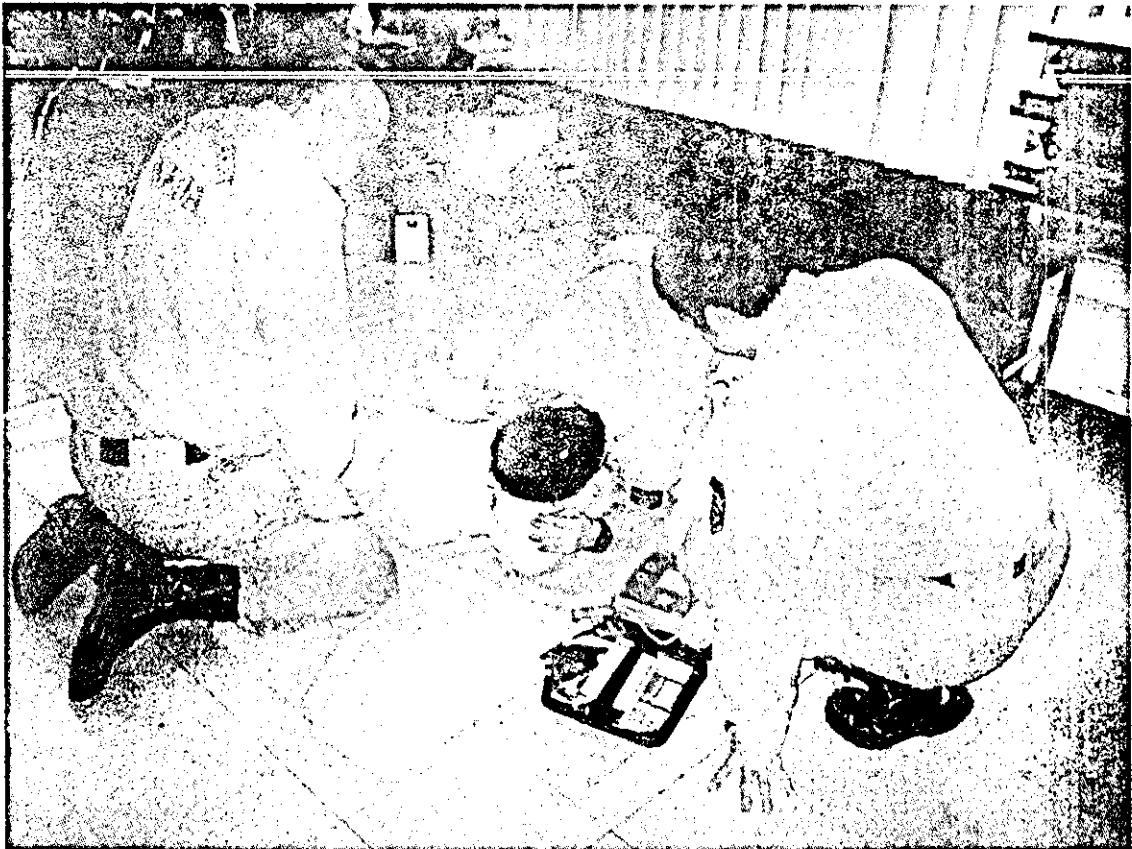


2005/4/20・21・22

池田市消防本部









# V. 中 間 報 告



急性心不全とその関連疾患に対するより効果的かつ効率的な治療法の確立に関する臨床研究

院外心停止者の救命率向上に対する自動体外式除細動器を用いた  
心肺蘇生法の普及とエビデンス確立のため  
ウツタイン様式を用いた大規模臨床研究

## J-PULSE報告

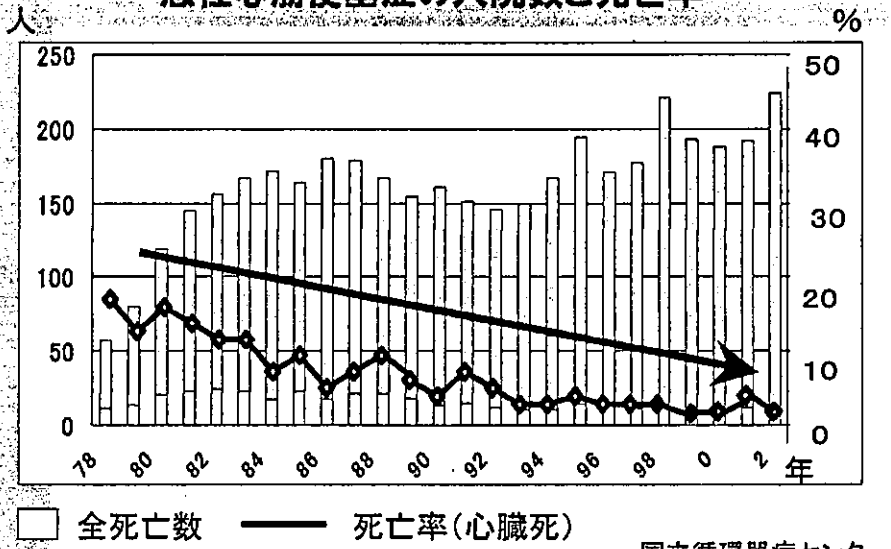
Japanese Population-based Utstein-style study with defibrillation  
and basic / advanced Life Support Education and implementation



国立循環器病センター内科心臓血管部門 野々木 宏

## 研究の背景

**CCUへ入院した急性心筋梗塞症の予後は  
過去25年間に劇的に改善した  
急性心筋梗塞症の入院数と死亡率**

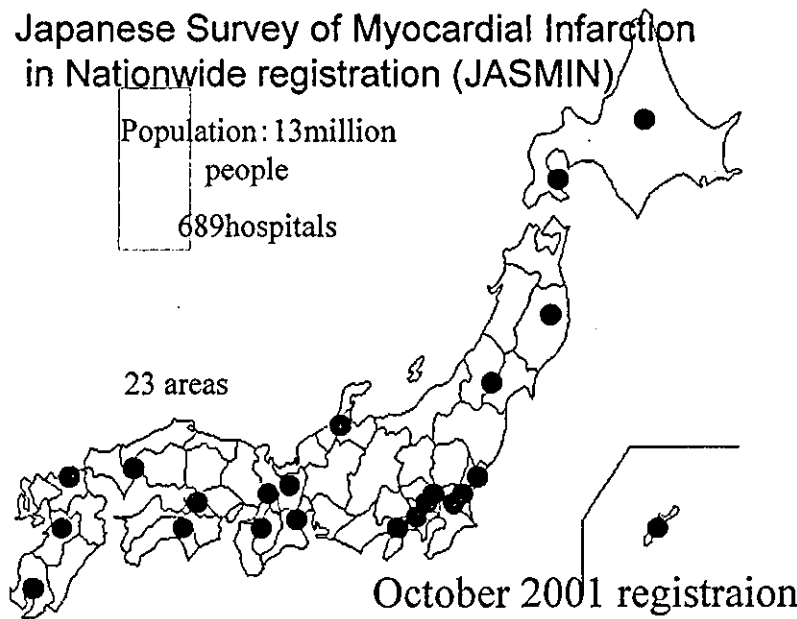


国立循環器病センター

**Japanese Survey of Myocardial Infarction  
in Nationwide registration (JASMIN)**

Population: 13million  
people  
689hospitals

23 areas



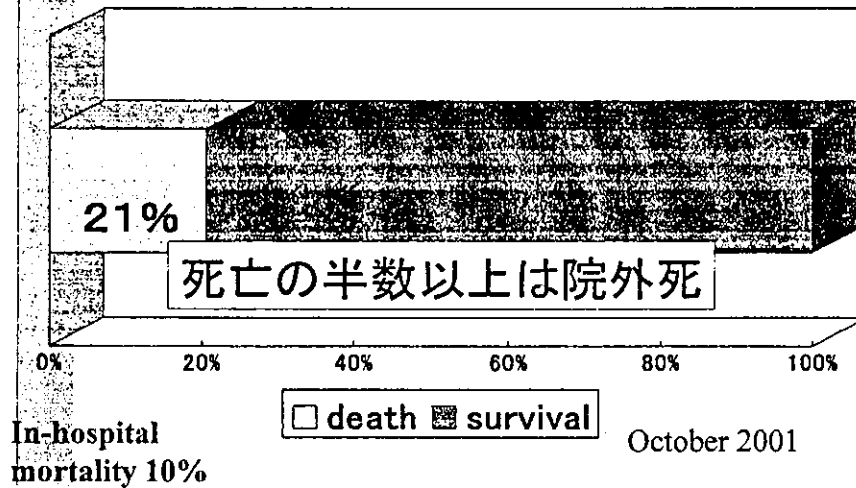
October 2001 registraion

厚生労働省循環器病委託研究11公一6

# 急性心筋梗塞症致命率

## 1ヶ月予後調査 JASMIN

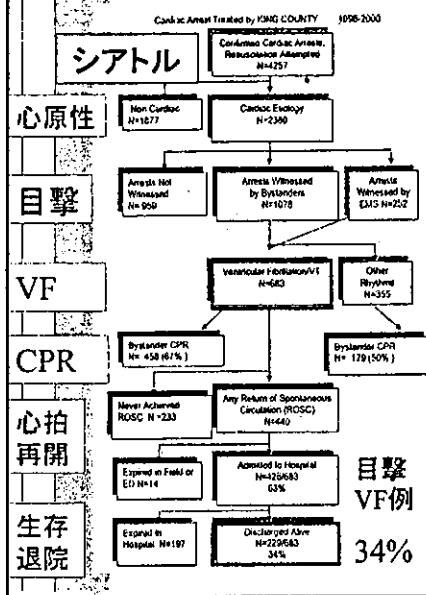
23 areas n=612 (Including out-hospital cardiac arrest)



## AED普及とその効果に関する研究 ウツタイン様式を用いた解析

- 本研究の目的は、非医療従事者に対するAED使用の解禁を踏まえて、地域でAEDとCPRの普及をはかり、その前後での救命効果を検討し、我が国における院外心停止に対する対策に関するエビデンス作成に資することである。
- 初年度は、ウツタイン様式による心原性院外心停止登録状況を調査し、データ解析システム構築を検討した。

# ウツタイン様式による院外心停止登録



## ウツタイン(Utstein)様式

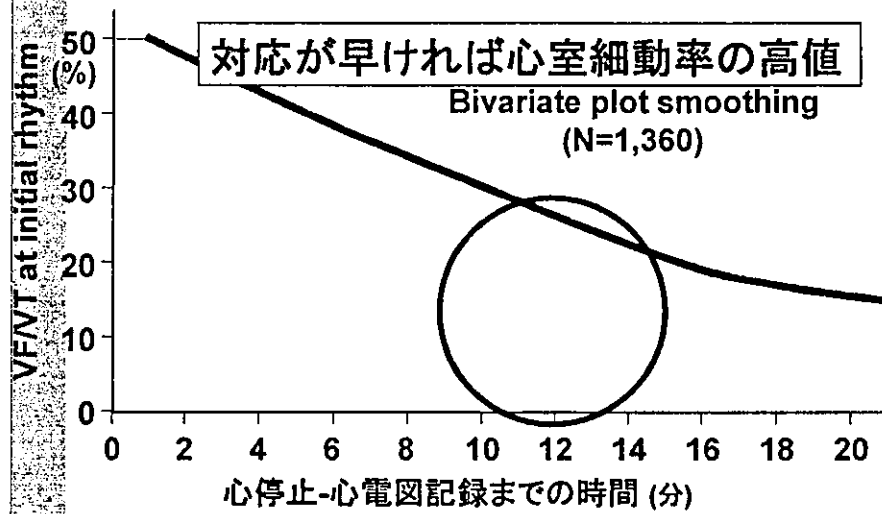
- ・1990年ノルウェーのウツタイン修道院で国際的なコンセンサス会議
- ・院外心停止に関する統一した定義と記録様式が提言された (Circulation 84:960,1991)
- ・各地域で前向き登録開始
- ・共通テンプレートで国際比較・経時比較が可能

## King Countyとの比較 心原性心停止症例の背景

Characteristic	King County (Time Period)			大阪
	1977-1981 (n=1982)	1986-1989 (n=2293)	1998-2001 (n=2016)	1998-2000 (n=8104)
年齢, y†	64.5 (12.6)	66.8 (13.5)	66.3 (13.8)	70.2 (15.4)
女性, % (n)†	23.2 (459)	33.2 (762)	33.6 (676)	40.5 (3281)
目撃, % (n)†	70.3 (1393)	61.1 (1400)	58.4 (1178)	42.2 (3421)
Bystander CPR, % (n)†				
口頭指示無しBystander CPR	27.3 (542)	34.2 (784)	29.6 (596)	21.9 (1771)
口頭指示あり CPR	0 (0)	16.0 (366)	20.2 (407)	
場所, % (n)				
自宅	...	72.1 (1654)	65.2 (1316)	69.8 (5657)
公共スペース	...	17.0 (390)	18.6 (374)	10.9 (884)
NH/Medical	...	10.9 (249)	16.2 (326)	5.1 (412)
VF率, % (n)†	58.8 (1166)	44.1 (1011)	43.8 (883)	9.8 (798)
BLSまでの時間, min†	3.8 (2.5)	4.6 (2.7)	5.1 (2.7)	6.8 (3.0)
除細動までの時間, min†	7.7 (3.8)	5.2 (3.1)	5.3 (2.7)	15.9 (7.0)

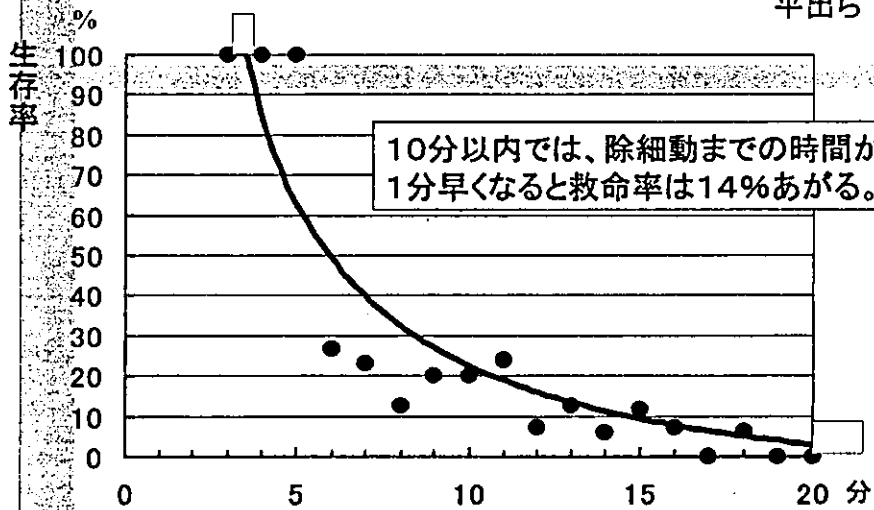
## 心室細動率と心電図記録までの時間 心原性心停止目撃例での検討

東京都 SOS-KANTO

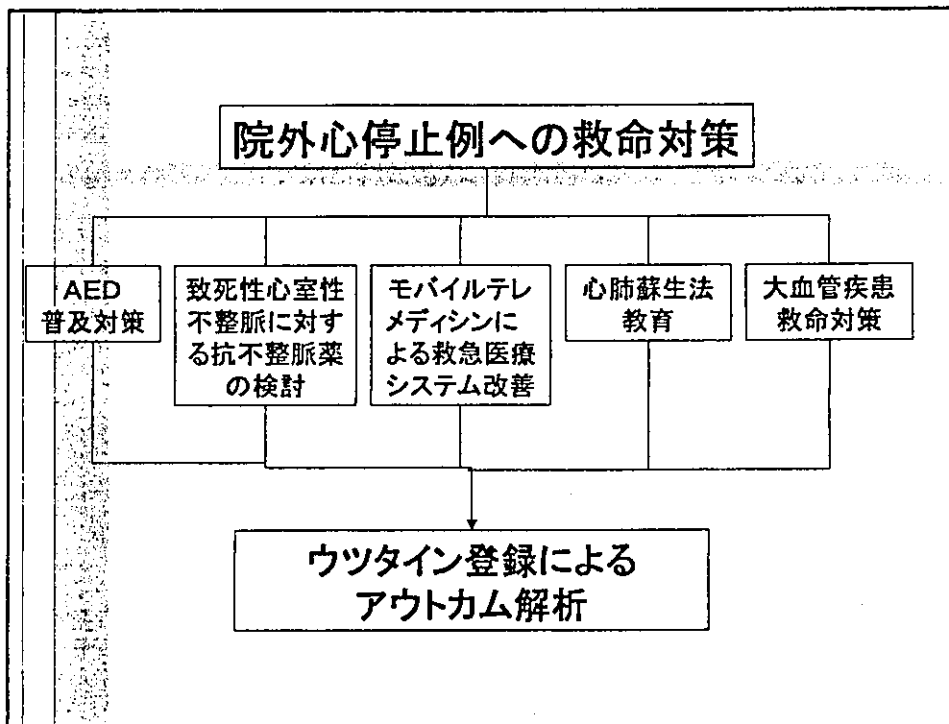


## 救急コールから除細動までの時間と生存率

平出ら



生存数	1	2	1	4	3	2	5	6	6	3	3	2	3	1	0	1	0	0
総数	1	2	1	15	13	16	25	30	25	42	24	33	26	14	19	16	19	13



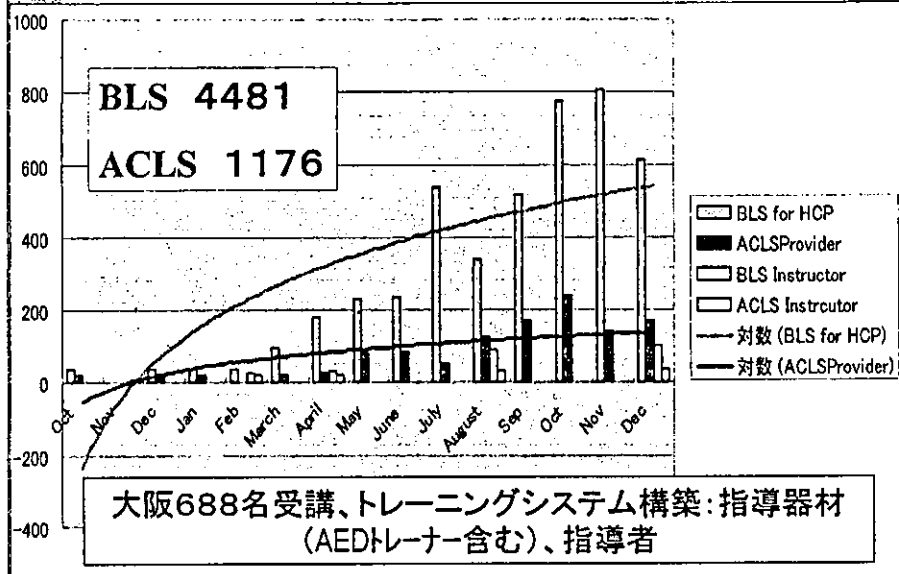
### 国際インストラクタートレーナー資格取得 (Heartsaver AED, BLS, ACLS)

AHAスタッフ

ニュージャージー  
AHAコース 5日間

Beth Cooper;  
Howard Swidler;  
Hernan Ricaurte

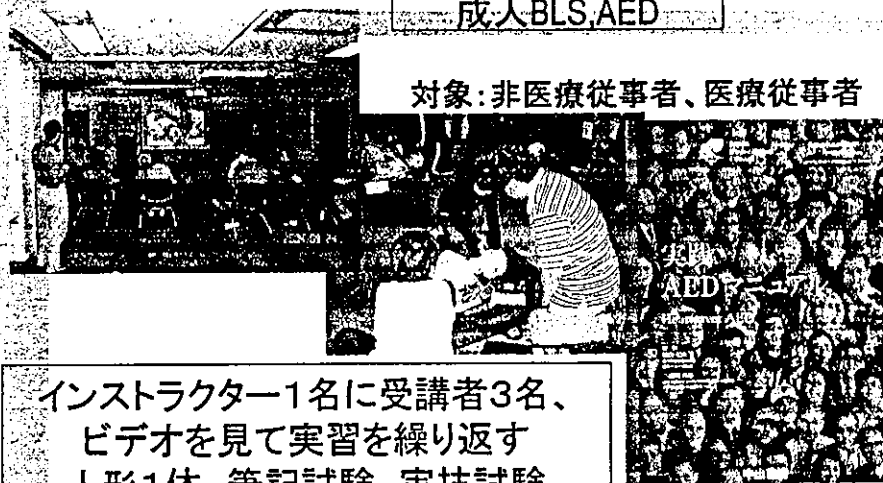
## 心肺蘇生法普及・指導者養成



## AED コース開催

成人BLS, AED

対象: 非医療従事者、医療従事者



インストラクター1名に受講者3名、  
ビデオを見て実習を繰り返す  
人形1体、筆記試験、実技試験

**AHA BLS for HCP  
in National Cardiovascular Center**



**Chain of Survival 救命の連鎖**

**地域を究極のCCUに！**



早い通報  
緊急コール

早いCPR  
第1発見者

早い除細動  
AED

早い高度治療  
ACLS

“119番通報、AED”

フェイスシールド  
ポケットマスク

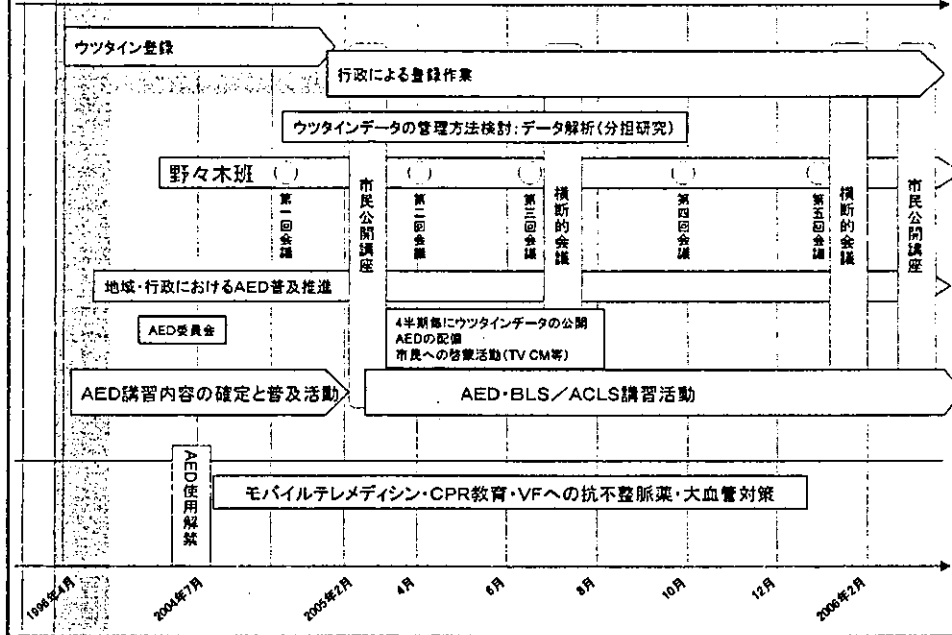
誰でも使用可能

チーム医療

**エビデンスを国際発信**



## 厚生労働科学研究:ウツイン登録とAED普及活動 ロードマップ 2005年度

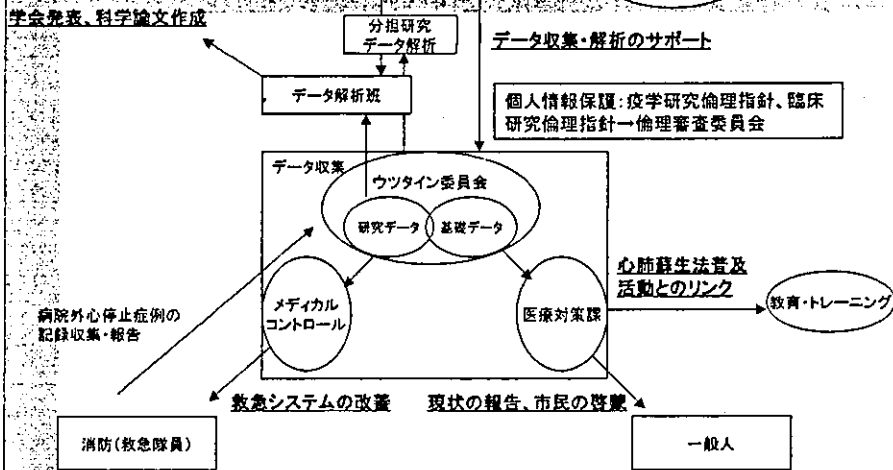


## 厚生労働科学研究ウツイン解析 構成図

全国・海外への情報発信

### 野々木班 (厚生労働省研究班)

厚生労働省



## ウツタイン登録とAED普及班

- 主任研究者  
野々木 宏 国立循環器病センター
- 分担研究者  
公文 啓二 独立行政法人国立病院機構函館病院  
菊地 研 岩手医科大学第2内科  
長尾 建 駿河台日本大学救急医学  
平出 敦 京都大学医学教育推進センター  
森田 大 三島救命救急センター  
向仲 真蔵 大阪府立千里救命救急センター  
佐瀬 一洋 国立循環器病センター  
角地 祐幸 国立循環器病センター
- 研究協力者  
梶山 晃雄 独立行政法人国立病院機構岩国医療センター  
中村 一彦 独立行政法人国立病院機構九州循環器病センター  
渡辺 隆夫 独立行政法人国立病院機構福島病院  
横山 広行 独立行政法人国立病院機構静岡医療センター  
大谷 望 独立行政法人国立病院機構関門医療センター  
石見 拓 大阪大学総合診療部  
渡辺 淳 東北大学循環器内科  
中村 保幸 京都女子大学

## データ収集・解析システム構築

### 解析プロトコル作成

#### 分担研究者

佐藤 俊哉 京都大学大学院医学研究科健康解析学

### データ解析

#### 分担研究者

永井 洋士 先端医療振興財団臨床研究情報センター

### 臨床疫学研究のデザイン

#### 分担研究者

福井 次矢 聖路加国際病院

VI. 平成16年1月6日開催  
第一回班会議資料

研究課題名（公募課題番号）：急性心不全とその関連疾患に対するより効果的かつ効率的な治療等の確立に関する臨床研究（16121401）－院外心停止者の救命率向上に対する自動体外式除細動器を用いた心肺蘇生法の普及とエビデンス確立のためウツタイン様式を用いた大規模臨床研究－

研究組織

研究者名	所属施設及び専門	職名
野々木 宏	国立循環器病センター緊急部	部長
向仲 真蔵	大阪府率千里救命救急センター	副所長
森田 大	大阪府立三島救命救急センター	所長
平出 敦	大阪大学大学院医学系研究科生体機能調節医学（総合診療部）	助教授
福井 次矢	聖路加国際病院	副院長
佐藤 俊哉	京都大学大学院医学研究科健康医学系医療統計部門	教授
永井 洋士	(財)先端医療振興財団 臨床研究情報センター	主任研究員
菊池 研	岩手医科大学、第二内科 岩手県高度救命救急センター	助手
長尾 建	駿河台日本大学救急医学	助教授
公文 啓二	国立函館病院	院長
荻野 均	国立循環器病センター心臓血管外科	医長
高本真一	東京大学医学部 心臓外科	教授
大北 裕	神戸大学呼吸循環器外科	教授
松田 均	国立循環器病センター 心臓血管外科	医師
角地 祐幸	国立循環器病センター緊急部	医師
佐瀬 一洋	国立循環器病センター緊急部	医長